

スポーツ施設におけるユニバーサルデザイン化等推進事業セミナー

【事例紹介】

舞鶴文化公園体育館の取組について

京都府 舞鶴市 市民文化環境部
スポーツ振興課 係長 後 梢

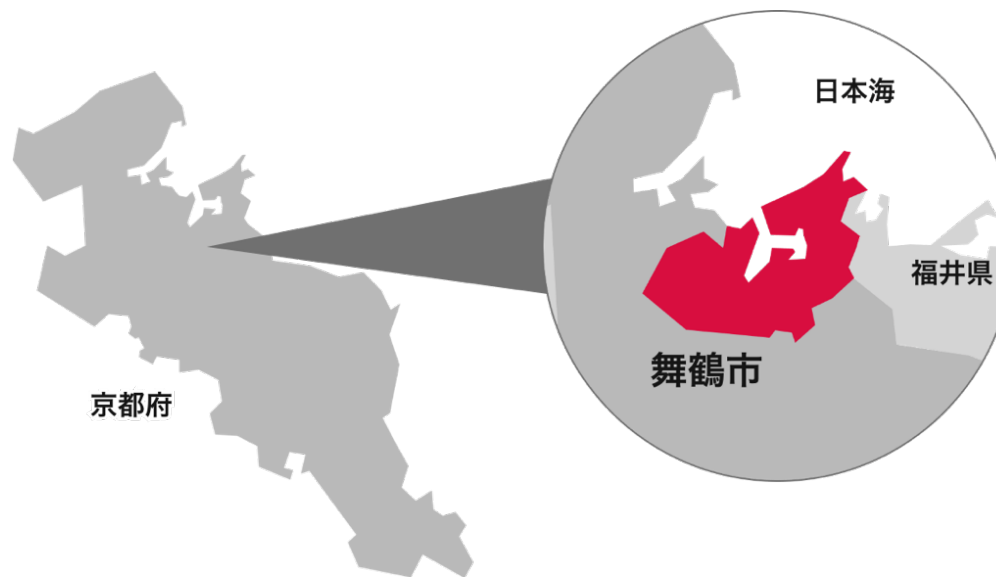
■ 舞鶴市について

■ 人口

77,726人
(令和5年2月1日時点)

■ 面積

342.13km²



引揚棧橋



舞鶴赤れんがパーク



雪景色



■ 文化公園体育館について

■ 供用開始年月

昭和61年7月

■ 施設内容

アリーナ（1,897m²）、剣道場（769m²）
柔道場（769m²）、レスリング場（238m²）
その他（トレーニング室、会議室2室）

■ 近年の工事等

R1 トイレ・更衣室改修工事

R2 レスリング場整備工事

R3 照明LED化、再エネ設備導入工事

■ 主な利用

- ・ 東京2020オリンピック・パラリンピック
ウズベキスタン共和国のホストタウン大会事前合宿
- ・ V. LEAGUE公式戦
- ・ 小中高生や各スポーツ団体の大会 等



■ 施設の課題

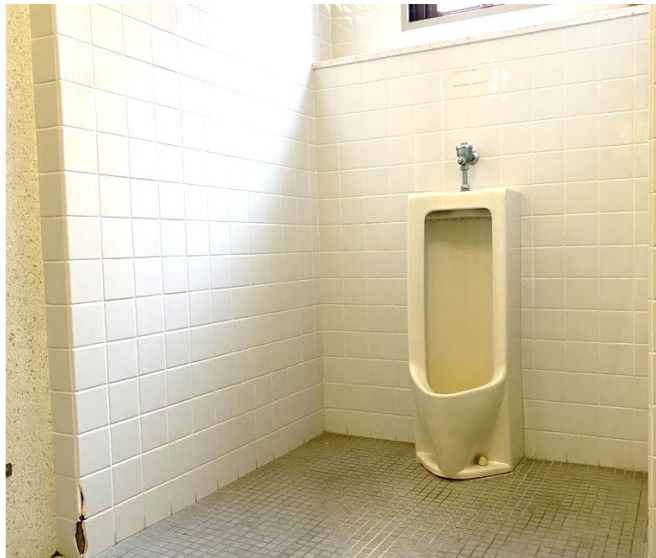


ユニバーサルデザイン
&
SDGsの推進

■ 施設の課題（令和元年度の改修前）

- 湿式トイレ、照明器具及び換気設備の劣化（薄暗く、悪臭がする不衛生な環境）
- トイレ内に段差があり、和式便器がほとんどである
- トイレが狭く外国人に不向き
- 多目的トイレの機能が不十分

小便器



大便器



■ 施設整備コンセプト

ユニバーサルデザインの導入

主に乾式・洋式化を図り、段差がなく利用しやすい清潔な空間

ウズベキスタン選手団等の外国人の方の利用も想定し、すべての利用者が視認できるピクトサインと案内板を設置

スポーツ施設特有の集中利用

大柄な選手、車いす利用者、オストメイト、子ども連れの利用者

スポーツを「する」方だけでなく「見る」、「支える」方が心地よく使える

外国人選手が利用できるような高さ

■ 施設整備について

■ 令和元年 トイレ・更衣室改修（ユニバーサルデザイン化）工事

〈竣工写真〉



■ 施設整備を終えて



ウズベキスタンのホストタウンとして、舞鶴市で初となる五輪事前合宿の受け入れ

⇒文化・体格等が異なる外国人にも好評



子連れでも安心して利用できるようになった。

誰でも利用しやすくなった。

■ 共生社会の実現に向けて

施設における取組

■ 車椅子利用者

アリーナ2階に車椅子利用者専用の観覧スペースを設置

■ スロープ

昭和61年に建築した建物のため施設に段差があるが、後付けでスロープを設置

■ ベビーベッド

1階の空きスペースにベビーベッドを設置

■ その他

東京2020オリンピック・パラリンピックの事前合宿受入の際は館内表示をロシア語へ

授乳室やLGBTの方などの利用の際に必要なに応じて応接室などを貸し出し



→ **老朽化が進む施設のため利用者すべての要望に対応することは難しいが、多くの利用者の方が、快適に利用いただけるよう工夫**

■ 舞鶴市における近年の取り組み

■ 総合文化会館 トイレ改修工事



■ ユニバーサルスポーツの普及



■ 舞鶴市における近年の取り組み

■ 多世代交流施設「まなびあむ」整備工事



ご清聴ありがとうございました。



連絡先：京都府 舞鶴市 市民文化環境部 スポーツ振興課

【TEL】 0773-66-1058

【Mail】 suposin@city.maizuru.lg.jp